



たった一度の キャンプとの出会い

小室 等

Komuro Hitoshi

フォークシンガー

▼YMCAキャンプとの出会い

1960年、高校2年生の時に一度だけYMCAの野尻学荘に参加しました。一緒にフォークソングをやっていた小林雄二っていう、後に一緒に「六文銭」をたちあげた同級生に誘われて、YMCAが何かも知らずに参加したのですが、苦痛でしたね（笑）。決まった時間に起きるとか寝るとか言われるのも好きじゃなかったです。でも、いくつか得たものがありました。1つは水泳。それまで50mも泳げなかったのに、野尻湖を横断したんです。ぼくは「無理だ」って言った

たのに「すぐにボートにあげてやるから大丈夫」って言われて泳ぎました。でも、なかなかあげてくれず、雨の降る寒い野尻湖で、必死になって泳いだわけです。ビリッケツだったけど、それをやり遂げたのは大きいことでしたね。

もう一つは歌。キャンプソングは、それまで体験したことのない歌の世界で興味深かったし、中でも「トミソング」^(※1)に出会ったことは非常に大きいことでした。言葉が生きてるっていうのかな。富岡さんの感性はとにかく新鮮で、たぶん、その後のぼくの音楽の創作に何がしかの影響を与えてくれたと思っています。それと、ストーム^(※2)。あれでずいぶん気持ちが馴染みました。最初にキャンプに来たときは、何か管理された感じを強く受けたけど、「これもありなんだ。なかなかやるじゃん」みたいなね。そういう柔らかさも取り込んでいることを感じました。

以上がぼくにとって最初で最後のY M C Aキャンプです。でもこの体験があったので、後に娘（こむろゆい）をY M C A キャンプに行かせました。ビービー泣きながら行きましたけど、何かの体験をしてくるだろうと思って行かせました。

※1【トミソング】：東京Y M C A 少年長期キャンプ「野尻学荘」の音楽指導者であった富岡正男（1909-2008）が作詞・作曲または編曲した歌。「美しい湖水よ」「ガチャガチャバンド」等、多くの歌が現在も全国のY M C Aキャンプで愛唱されている。

※2【ストーム】：キャンプの夜中にキャンパーやリーダーが仕掛けるいたずらを指す。懲らしめるいたずらではなく、本人もキャンプ全体もそのいたずらで笑えるもの。キャビン全員の服が朝起きると旗の代わりにズラリと掲げられている等。

▼30回開催した「音楽村」

その後1966年から5年間、野尻キャンプ場で「野尻音楽村」というキャンプをやりました。アメリカのアートヴィレッジをまねて始めたキャンプです。音楽を愛好する学生と音楽好きなY M C A のリーダー達が集まり、音楽三昧の4日間を過ごすという、ぼくらにとっては天国のようなキャンプです。ぼくはこのキャンプのために村歌などいくつか作曲もしました。でも何しろぼくらは「おきて破り」で、キャンプ場の規則を次々と破っては、いつもY M C A と闘ってました（笑）。「脱いだ靴を片づけなさい」と怒られても、「権力的に規則を守らせようとするのは、ぼくらの思想とは相いれない」とか言って。

でもY M C A には、そういう議論をするだけの懐の深さがあった。本当にただ規則を押しつけるだけの施設だったら、ぼくらは何回も行かなかったでしょうね。



そうやって対立する一方でぼくらは、YMCA のキャンプのノウハウを提供していただいて、豊かな体験をすることができました。

ファイヤーの火のつけ方もいろいろ楽しませてもらったり、ある時は湖の沖のボートからトランペットを吹いたこともありました。夜の湖面をわたってくるトランペットの音に、全員涙でしたね。

社会人になってしばらくは、忙しくて開催できませんでしたが、1984年から山中湖センターで、子どもも連れて家族ぐるみのファミリーキャンプ「山中湖音楽村」を始めました。この時も「片づけたい人が片づける」といった、とにかくYMCAの中では他に例をみないような型破りなキャンプだったのですが、でも、YMCA じゃなければ30年間も続かなかったですよ。

さらに小林雄二とぼくは数年間、神田のYMCAでギター教室をやっていた時代もありました。何度か口ビーコンサートもしましたし、教室の後に担当主事と居酒屋で熱っぽく語り合ったりと、ある種青春とよんでもいいような、本当に貴重な時を過ごしました。

▼今後のYMCAに向けてのメッセージ

ぼくは本当にYMCAの恩恵をこうむったと思っています。これからも、YMCAがもっている「よりゆるやかな気風」をもって、若い連中の拠り所の一つとして機能してくれることを期待したいですね。この波立つ世界情勢の中で、YMCAの役割は大きいと思います。

Profile



1968年にグループ「六文銭」を結成。
1975年：泉谷しげる、井上陽水、吉田拓郎と「フォーライフレコード」を設立。現在は自身のコンサートを中心に、イベントプロデュースやテレビ・ラジオへの出演など、その活動は多岐にわたる。また歌手で娘のこむろゆいさんとの「Lagniappe」など、ユニットでも活動中。

【聞き手：青山南海男／文責：東京YMCA 中里 敦・高田京子】